

# ひめやくつうしん



## \* 会長挨拶 \*

6月5日の第8回一般社団法人姫路薬剤師会通常総会が、正会員数648名、出席者数および議決権の代理行使者数の合計596名と、過半数を超えることができましたので成立を宣言いたし、令和3年度収支決算報告承認の件(令和3年度監査報告)、令和4年度事業計画案並びに予算案承認の件、当会の理事・監事及び県薬代議員の改選等、全ての議案の承認をいただきましたことをご報告申し上げます。総会後の懇親会が無いこともあり総会出席者は36名でした(コロナ禍以前は100~180名)。

理事は、新任の松岡洋平、富井新也を加え、前回より1名増え19名(定数5~20名)、監事は、新任の檜崎友也を加え、三浦数典とこれまで通り2名体制を(定数1~2名)、兵庫県薬剤師会総会に出席する県薬代議員は、新任の為則利之を加え、前回より1名増え10名(定数10名)がそれぞれ選出されました。

理事候補者全てが承認された後に臨時理事会を開催し、理事の中から正副会長を決議によって選定いたしました。会長は私(浦上文男)が再任をいただきました。

副会長の5名は、泉憲政、深見達也、池口由美、関悠吾、藤原昭と全員再任です。

6月16日の理事会にて、吉田良輔元会長と大澤泰輔前会長の相談役への承認をいただき、会長の私が委嘱させていただきました。任期は委嘱した会長の在任期間です。

来年こそは、コロナが終息し、多くの先生方と盛大に定時総会&懇親会を開催したいと願います。2年後の定時総会まで、副会長、理事及び監事の役員、そして事業部毎に委嘱いたしました委員の先生方と併せて当会の事業を行ってまいりますので、会員の先生方のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

浦上 文男



## \* 総務部 \*

担当副会長：関 悠吾(事務局長)、泉 憲政

担当理事：八藤賢市、西岡健二、爲則利之、八木 智

事務局：船引里香、横山朝美

総務部では、薬剤師会業務の庶務、予算管理、人事管理、表彰業務等を行っております。

まず庶務ですが、法人としての各種規則・書式の点検・整備を行い、コロナウイルスの影響と社会の要請に合わせて、雇用調整への対応、就業規則の見直しや、書式の更新を行います。また、コロナウイルス関連の給付金・助成金への対応も迅速に行います。

また、会費・FAX送信料に関する適正な管理と請求に努めます。従来会費・FAX送信料は郵便局にて払込していただいておりますが、現行のゆうちょ銀行の現金振込が、2022年1月7日より、払込の際、別途手数料110円の追加料金がかかるように変更となりました。そのため、今年度4月より会員様に手数料が発生しないリコーリースの口座振替を導入することとなりました。当該口座振替を導入することで、会員様の手数料支払いが無くなるとともに、郵便局へ支払いに行く必要がなくなりました。会費は個人毎に対して請求を行っていますが、会費・FAX送信料における請求側・支払い側双方の業務負担が減るようにしていきます。



次に予算管理ですが、各部の事業が円滑に行えるように、かつコロナウイルス感染症の影響を考慮しながら収支を常に把握し、予算が正しく使用できるように的確な収支の管理に努めます。

また、昨年は(株)ヒメヤクの株式譲受が臨時総会にて決議されましたが、収支・支出の確認を行い、予算・決算に連動させてまいります。

人事管理におきましては、本部職員及び処方箋送信コーナー職員に対し、雇用者として求められるよう誠意をもって、対応します。

表彰関連では、みなさまの今迄の活動を明らかにするものですので、漏れなく管理致します。

一般・会員からの苦情相談がありましたら、真摯に迅速に対応するとともに、会員への現状報告、関係機関との調整・連絡を行います。

以上、新型コロナウイルスの状況を踏まえながら深謀遠慮に事業を展開します。

関 悠吾

## \* 薬学教育部 \*

担当副会長：関 悠吾

担当理事：勝間由美子、杉本香織、冨井新也、松田康弘

担当委員：椋野靖規・安福良太

薬学教育部では、兵庫県薬剤師会と病院薬局実務実習近畿地区調整機構の主導のもと、実務実習受入施設の整備強化として実習生のマッチング（トラブル発生時の対応等含）・病薬連携整備（グループ化）・モデルコアカリキュラムへの対応を行います。コロナウイルスの状況にもよりますが、実務実習指導体制の整備・強化として認定実務実習指導薬剤師更新講習会の案内や指導薬剤師へのアドバンスワークショップの参加を促し、変革期に対応できる環境整備を行います。

次に、6年制カリキュラムへの対応として、姫路獨協大学コミュニティーファーマシー論への講師派遣・内容の充実、各薬科大学早期体験学習対応、OSCE 評価者、事前学習への講師派遣の協力を行います。コミュニティーファーマシー論では、姫路獨協大学薬学部の1回生向けに90分の講義を行っておりますが、講師の募集も随時受け付けております。薬剤師の職能アピール活動とともに、プレゼンテーションのスキルアップも兼ねてチャレンジしていただける薬剤師の先生を大募集しております。また、指導薬剤師の研鑽として、学術大会への参加・疾患に対する薬薬連携研修会への参加にも取り組んでいきます。

以上、コロナウイルスの状況を踏まえながら深謀遠慮に事業を展開します。

関 悠吾

## \* 研修部 \*

担当副会長：深見達也

担当理事：田中定幸、安田幸一、勝間由美子、松田康弘

担当委員：西本悦子

研修部は6月5日の定時総会後理事会により決定した新しいメンバーとなります。引き続き皆様にとっていい研修会になるよう努力して所存です。

研修部は、通常姫路薬剤師会主催の定例研修会の充実と、病院薬剤師会西播支部と姫路獨協大学薬学部との共催で行う西播・姫路医療セミナー及びその他研修会に積極的に参加、協力して情報を収集し、フレッシュな演題の研修会の開催を目標としています。昨年も新型コロナ感染が拡大している状況を受け、参加者及び関係者の健康を第一に考慮した結果、WEB開催等の活用広い会場における開催等を実施いたしました。今年度は新型コロナウイルスの感染防止を徹底し、多くの会員様に参加して頂くよう努めてまいります。

さらに、今年度4月からは日本薬剤師研修センターの単位取得の方法が変わり新しくPECSというシステムが導入され会員様がスムーズに研修単位を修得できるよう周知に努めます。また従来通り新生涯学習支援システム(JPALS)も啓発いたします。

県薬主催の研修会においてはマナブルというシステムの運用に伴う申し込みとなりますのでPECSと共に

未登録の方は登録の方よろしくお願ひ申し上げます。

出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう運用面におきまして努力してまいりたいと思います。

深見達也

## \* 学校薬剤師部 \*

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：勝間由美子、西岡健二、爲則利之、冨井新也

代 表 委 員：山内康子、成山恵美、西本悦子



令和4年度も引き続き学校薬剤師部の副会長を担当させていただきます深見です。

6月5日の定時総会に伴い昨年に新しいメンバー1人増えました。担当メンバー一同協力し、共に学校薬剤師部の為に7人で活動していきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為に、昨年4月の学校薬剤師部報告会は簡素化して実施、中止、延期となった検査もございました。新型コロナウイルスの感染症対策に関する対応について手や物の消毒の仕方、換気の仕方等、学校の先生方から多くの質問がございました。学校薬剤師として専門の見地から正しい情報を展開し、学校への助言等で活躍されましたことに感謝し御礼申し上げます。今年度も日本薬剤師会、厚生労働省、兵庫県薬剤師会からの新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理等について情報提供を迅速に学校薬剤師へ配信いたしますので、その情報を元に各学校薬剤師が担当校と連携を一層強化し、担当校の環境衛生の向上のために指導助言をしていただきたいと思います。

学校薬剤師は、学校長より任命された非常勤嘱託職員で、公立校では教育委員会から委嘱され公務員の一員となります。また私立校・認定こども園では学校の理事会等から委嘱されます。薬剤師の資格が必要で、各地区薬剤師会が各市町村教育委員会への推薦を行っています。学校保健安全法という法律に基づき学校内の水道水やプールの水質、教室内の空気の汚れ、給食用設備の衛生などを定期的に測定・検査し、指導・助言が主な職務です。これは、子供たちが安全快適に過ごせるよう学校の環境衛生を維持・改善するための大事な仕事であり、改善すべき点があれば学校側に助言をいたします。今年度からいっそう、学校薬剤師の職務は健康相談、保健指導にも従事するよう求められております。くすりの正しい使い方の講義、薬物乱用防止の講義活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。学校薬剤師として、学校における健康教育に関わっております。また、昨年度から公立小学校の夏季期間中の給食室点検や養護教諭対象向けの研修会等の事業が増え、今期もこれに向けて適切に努めたいと思ひます。

私立認定こども園に学校薬剤師の配置もあり、年々学校薬剤師の活躍する場が増えております。約250校の学校施設を姫路薬剤師会学校薬剤師部の109名の学校薬剤師が担当しております。1人1校の大目標がございました。学校薬剤師はかかりつけ薬剤師としての算定要件のひとつでもあります。

本年度は新たに6名の先生が学校薬剤師部に入部いただき学校薬剤師として活躍されております。引き続き状況に応じて毎年11月頃に新規会員募集を行いますので、興味があり、やってみたいという先生はご応募ください。宜しくお願ひ致します。

深見達也

## \* 医療保険部 \*

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：杉本香織、森保貴典、八藤賢市、松岡洋平

今年度も引き続き医療保険部を担当します藤原です。よろしくお願いいたします。

2022年度の調剤報酬改定は、リフィル処方箋の導入、薬剤調製料・調剤管理料・服薬管理指導料の新設などが実施され、以下の4つの方針に沿って行われました。

- 薬局薬剤師業務の対物中心から対人中心への転換の推進
- 薬局の機能と効率性に応じた評価の見直し
- 在宅業務の推進
- ICTの活用

今回は今まで以上に薬剤師の対人業務に対する評価の拡充を目的とした評価体系の見直しや新設が行われました。これは、患者や地域に寄り添った薬局や薬剤師が求められていることを意味しています。

医療保険部では、保険薬局・保険薬剤師のさらなる職域の拡大・適正な評価と正当な調剤報酬の獲得をスローガンに、情報を収集し、指定後講習会等で情報提供していきます。

保険調剤に関係する法令・法規への知識を深めていただき、「求められる保険薬局・保険薬剤師」として適正かつ正当で最大限の評価を得られるよう講習会の内容を更新していきます。

兵庫県薬剤師会主催の「保険薬局・保険薬剤師伝達講習会」は7月3日に姫路商工会議所大ホールで、また姫路薬剤師会主催の「指定後講習会」は秋以降に開催いたしますので、是非、積極的にご参加いただき、参加された薬剤師の方々の保険調剤業務の一助としていただければ幸いです。

藤原 昭

## \* 編集・文化部 \*

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：田中定幸、藤田佳典

担 当 委 員：碁盤繁子

今年度も引き続き編集・文化部を担当します藤原です。よろしくお願いいたします。

編集・文化部は

- ① ひめやく通信の発行
- ② あゆみの編集(総務部と共同)
- ③ 会員の親睦を深めるためのイベントの開催(ゴルフコンペ、バス旅行、親睦会等)

を主な業務としています。



あゆみは姫路薬剤師会法人化10周年を目途に、姫路薬剤師会の歴史を綴ります。また新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収まりつつあるものの、秋以降インフルエンザの大流行も予想されており、バス旅行並びにゴルフコンペは、今年度も中止にいたします。

藤原 昭

## \* 特別事業部 \*

担当副会長: 泉 憲政、関 悠吾、藤原 昭

担 当 理 事: 田中定幸、松田康弘

今期、特別事業部は再任の担当者ばかりです。

地域に貢献する活動を中心に薬剤師職能のアピールを行っていきたいと思います。また、地域連携薬局や健康サポート薬局といった専門性をもった、患者に選ばれる薬局を目指しサポートを行っていきたいと思います。

活動計画

- 1) くすりと健康の週間  
2年程、市民向けのイベントができておりませんが、今期は県民公開講座を開催する予定なので感染対策を行いながら一緒に開催予定です。
- 2) 姫路市休日・夜間急病センター(姫路市救急医療協会からの委託業務)  
出務者のシフト調整・予算要望・新規出務希望者募集・医薬品在庫管理  
24時間待機電話・実務実習生の受け入れ・感染予防対策 等  
出務希望者の面談は随時行っています。薬剤師会事務局までお問い合わせください
- 3) 広域病院処方箋送信事業  
処方箋送信事業の継続管理及び処方箋送信コーナーの運営管理
- 4) その他 他部会のサポート

泉 憲政

## \* 災害公衆衛生部 \*

担当副会長: 泉 憲政

担 当 理 事: 爲則利之、松岡洋平、八木 智

先日も能登で地震が続いていますが、災害もいろいろな様相で我々に襲ってきます。本年度は昨年度各薬局にBCPを配布できませんでしたので、8月までに姫路薬剤師会会員薬局すべてに配布、設置完了させたいと思います。近日中にBCPの作成操作説明会を行う案内を送信いたします。

兵庫県薬剤師会では災害時に薬剤師を派遣する場合、災害支援薬剤師を中心に計画を立てていきます。定期的に研修会を行います。兵庫県災害支援薬剤師の登録をしていただき、災害時には薬剤師も医療従事者として協力できる体制をとり、市民や要救助者の支援に入ってもらいたいと思います。

## 活動予定

- 1) 第2回薬剤師緊急対応スキルアップ研修会:一次救命処置(basic life support)

時期未定・場所未定

AED 使用法 人口呼吸 胸骨圧迫

- 2) 第3回 PhDLS(災害薬事研修コース)研修コース

時期未定・場所未定

- 3) 災害支援薬剤師養成研修 兵薬界にて募集

- 4) 姫路ロジスティクス研修会 中播磨県民センター・姫路市保健所・姫路市医師会 共催

- 5) 禁煙指導認定薬剤師講習会

6年ごとの更新

更新するとネームプレートがシルバー、ゴールドと更新されます。

- 6) 薬局におけるBCP作成と整備

昨年度の介護報酬改定において、感染症や災害への対応力強化において薬局のBCPの作成の必要性が盛り込まれました。2年間の猶予期間はあるものの、他サービス機関との連携を構築するため、提出を求められることも出てくると思います。また、調剤報酬改定においては連携強化加算で災害時の対応マニュアルが必要となっています。姫路獨協大学薬学部、柳澤教授の協力の基、近日中に皆さんの薬局へ資料提供できるようになります。

「BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画」のことです。

- 7) 薬剤師会では災害時を想定し備品を備えています。

手指消毒用エタノール 300本・マスク 300個・災害時使用ベスト3着・PPE 関連資材  
トランシーバー8台・衛星電話 1台



泉 憲政

## \* 情報・広報部 \*

担当副会長: 泉 憲政

担 当 理 事: 八藤賢市、安田幸一、富井新也

ホームページを中心に研修会や行政からの事務連絡等の伝達と更新を行います。定期的にホームページを確認してください。また、災害時の被災状況報告、安否確認ができるように、ホームページのトップに載せていますので確認しておいてください。様々な情報をメールで送信していきます。受け取れる環境にして下さい。また、薬剤師会のWEB 通信ツール等の拡充も図ります。

姫路薬剤師会のホームページのログイン ID と Password が 令和3年 7 月 1 日 より変更しています。

**ID: himeph2021 Password: himeph2021**

ログインを 5 回連続間違えるとロックがかかります。15 分以上たってから再度ログインしてください。

薬剤師会からの情報を fax 送信からメール送信へ移行しています。

コスト削減と情報送信の効率化を行いますのでご協力よろしくお願いいたします。

薬剤師会からの情報送信サービスは薬局のメールアドレスの登録を必ず行ってください。

薬局:メール受信の設定

<https://ssl.formman.com/t/w8SI/>



個人:携帯電話やパソコンへのメール受信設定を希望の方

<https://ssl.formman.com/t/r909/>



#### 土曜・日曜・休日・深夜帯の情報伝達ツールのご案内

姫路薬剤師会の事務局が閉局している時間帯に訃報や緊急連絡を行いたい場合、情報広報部にて FAX を受け付けることができるようになりました。

会社における会員や会員のご家族また、近隣医院の情報を FAX でご連絡ください。

上記以外で通常連絡の FAX では使用しないでください。

土曜・日曜・休日・深夜帯の FAX 番号 079-263-8888

泉 憲政

#### \* 薬局経営部 \*

担当副会長:池口由美

担 当 理 事:森保貴典、西岡健二、松田康弘、八木 智

担 当 委 員:高木 悟



薬局経営部は、薬業連携の中で各病院と交流を図り、病院⇄薬局間で相互乗り入れ研修開催、4 病院(旧製鉄記念広畑病院・姫路聖マリア病院・姫路医療センター・姫路赤十字病院)との定期会合等を行ってきました。

昨年度はコロナ禍の状況において 1 回のみですが開催し、医療用医薬品の出荷停止、出荷調整による保険薬局への多大な影響・苦境について医療機関に訴え、柔軟な対応を依頼しました。また、兵庫県立はりま姫路総合医療センター(以下 はり姫)開院の際にトラブルが生じないよう、薬剤部と面談を行うなど対応しましたが、開院から 1 ヶ月以上経過した現在、想定内外問わず課題が山積している現状です。

このような社会状況の中、連携に支障がでないよう、役員が担当病院と交流を図り、課題解決や相談応需・当会からの提案等を行うなどの個別対応に従事しております。

本年度は、はり姫を加えた 4 病院を中心とした広域病院との定期会合をより活発に行い、薬局と病院薬剤部に関わる部分での多職種連携・認知症患者へ連携したフォロー体制・病院⇄薬局間での連携強化、病院⇄薬局間の課題解決等について検討して行きます。

また、姫路市生活援護局と協力して行っている、生活援護室における服薬管理指導業務委託事業を継続し、生活保護受給者への訪問服薬管理指導の中で、後発医薬品の使用促進・生活困窮者への受診勧奨・特定検診等の検査受診の啓発等の支援を継続して行います。

昨年度 8 月に施行された「機能別薬局の認定制度」への支援についても、地域医療部・医療保険部・特別事業部と連携して行って参ります。

担当役員全員で、頑張っていきます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

## \* 地域医療部 \*

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：杉本香織、森保貴典、安田幸一、松岡洋平

担 当 委 員：永谷仁子、山本奈穂

地域医療部は、2025 年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・地域介護・予防・生活支援が一体的に提供される包括ケアシステム構築、団塊の世代が後期高齢者のピークを迎える 2040 年に向けて同システムの深化のため、各団体との連携会議に出席し、積極的に連携を推進し訪問指導へ、薬剤師の地域支援領域の拡大へ繋げていくことと、健康サポート薬局、健康・介護まちかど相談薬局事業推進を目標に活動しています。

本年度も引続き、行政・多職種主催の研修会・事例検討会・情報交換会等についてご案内致します。積極的に参加いただき、連携しやすい環境づくりにお役立て下さい。

また、入退院時に切れ目のない医療と介護の提供がよりスムーズに行えるよう、昨年度開催できなかった他多職種との合同研修会も調整中です。本年度は管理栄養士を招いて、フレイル予防関連についての研修会を企画しております。いずれの研修会も積極的に参加し、「情報交換」「顔の見える化」にお役立て下さい。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしていくことに加え、より連携しやすい環境を整えるべく活動し、機能別認定薬局・健康サポート薬局への支援に注力するとともに、薬剤師に対するニーズ・薬剤師の活躍の場等についての情報を収集し、会員様に研修会内で配信していきます。



本年度も、姫路市 後期高齢者医療保険課の事業への協力事業として通いの場の充実のため、高齢者の通いの場へ、薬剤師を講師として派遣する事業を継続していきます。講師募集のご案内をさせていただきますので、講師として地域活動へご参加下さい。

姫路在宅訪問薬局リスト令和 5 年度版の作成準備に入ります。現在令和 3 年度版に続き、医療機関をはじめとした関係各所・事業所に薬局・薬剤師の地域への支援の詳細内容とともに、リストの有効活用について紹介しながら配布していきます。積極的にリストに登録下さいますようお願い申し上げます。

「健康サポート薬局に対応するための支援事業」では、各職能団体に健康サポート薬局の意義や有用性などを紹介し、協力体制を構築できるよう活動しています。ニーズが多くなってきているママサポート活動への支援もオンライン開始も視野に入れ再開していきます。ママサポート認定薬剤師の皆様、是非積極的にご活躍下さい。また、県薬主催のママサポート薬剤師認定研修に積極的にご参加ください。

本年度のビッグイベントとして、**県民公開講座**を開催いたします。

やらなければいけないことが盛りだくさんですが、役員一同全力で頑張っていきます。

本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

## \* 神崎郡担当 \*

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：藤田佳典

担 当 委 員：住谷庸子、河内崇志

神崎郡圏域の、地域医療部関連の業務を行っています。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしております。多職種が集う研修会、事例検討会の情報を随時配信していますので、積極的にご参加いただき、地域医療参入の第一歩として、また活動領域拡大のための手段としてお役立てください。

また、高齢者の方々が参加する「通いの場」や多職種参加型の研修会での講師派遣も行っています。ご案内させていただきますので、講師として地域活動へご参加ください。

姫路在宅訪問薬局リストは、神崎郡圏域の関係各所にも配布しております。積極的にリストにご登録くださいますようお願い申し上げます。

担当役員一丸となって頑張っています。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美



## \* 薬剤師連盟 \*

姫路薬剤師連盟：会長 浦上文男

幹事長 関 悠吾

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：支部長 杉本香織

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：班 長 浦上文男、泉 憲政、池口由美、深見達也、関 悠吾、藤原 昭、田中定幸、藤田佳典、杉本香織、森保貴典、八藤賢市、西岡健二、安田幸一、松田康弘、勝間由美子、爲則利之、八木 智、松岡洋平、富井新也

薬剤師連盟は、薬剤師及び会員の生活向上、地位保全のために国、地方自治体に意見を陳情してもらえらる議員を応援し、選挙時には、その議員の支援にまわります。

昨年8月には薬剤師・薬局の役割を明確にした改正薬機法が施行されました。改正薬機法・薬剤師法で、その趣旨が十分に政策面にも反映されているかどうか注視し声を上げていく必要があります。また慢性的な医薬品の供給不足に加え、本年4月の調剤報酬改定や薬価基準見直しがなされ、薬剤師を取り巻く環境は一層厳しいものとなりました。こうした中で姫路薬剤師連盟も、姫路エリアから一層活発に声を上げていかなければなりません。

今後、会員みなさまの薬局へご挨拶・後援活動にお伺いすることがございます。その際には連盟活動への御理解・御賛同を、何卒宜しくお願い致します。

会員の方で、まだ連盟会費を未納の先生、**また、薬剤師連盟に未加入の先生**、薬剤師職能の維持・向上のためにも、どうか連盟会費をご入金・**連盟へのご入会いただけましたら**幸いでございます。このことも御一考の程、よろしく申し上げます。



幹事長 関 悠吾

